

執筆 編集 発行
碧南市特別支援教育推進活動委員会
啓発活動部

碧南市特別支援教育推進活動委員会だより

さ さ え あ い

第68号



碧南市特別支援教育推進委員会では、児童・生徒が将来自立できるよう援助する活動を計画し、推進しています。また、市民のみなさんに特別支援教育を一層理解していただけるよう「ささえあい」を発行しています。今号は、特別支援学級の交流活動や昨年度、中学校を卒業した生徒の進路先などを紹介します。

とびだせ！ 棚尾探検隊！！ 棚尾小学校

棚尾小学校の周りには、児童センター、ものづくりセンターなどの公共施設、お好み焼き、ピザなどの飲食店、八百屋、文房具店など、さまざまな施設があります。そこで、特別支援学級17名の探検隊が、歩いて、目で見て、どんな施設があるのか調べました。そして、見つけたことや知っていることを地図にまとめ発表しました。練習を重ね、全員堂々と発表することができました。2学期は、学校の近くのお店を見学し、詳しく調べる予定です。インタビュー活動や買い物活動を取り入れ、お店の人と関わることを通して、コミュニケーションの力をつけていきたいと思っています。その力をいろいろな生活場面で生かせるようにがんばります。

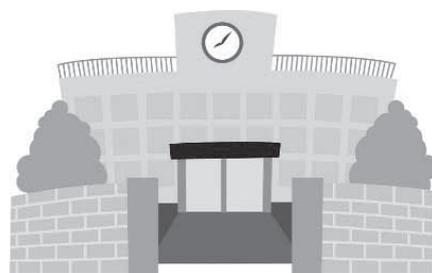


中学卒業後の進路

【市内中学校特別支援学級生徒の進路】

		R 1 年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
特別支援学校	安城特別支援学校	4	2	7	3	5	3	3	5
	大府もちのき特別支援学校 桃花校舎	3	1	2	2	2			1
	豊田高等特別支援学校			1	2	1	3	4	4
	ひいらぎ特別支援学校	1			1				
職業訓練校						2	1		
公立高校		1		1		1			
専修学校		3	3	1	2	3			
各種学校			3					1	1
家事従事		1	1			2		1	1

令和元年度、碧南市内の特別支援学級を卒業した生徒13名の進路は上記のとおりです。生徒、保護者、学校の先生で話し合いを重ね、生徒一人一人に最も適した進路を決めていきます。中学校は3年間しかありませんので、小学校などの早い時期から家庭や学校で進路の話し合いをすることをおすすめします。最近では、専修学校や調理師の専門学校、情報系や福祉系などの進路もあります。お子さんの可能性に目を向け、ふさわしい進路選択をすることが大切です。



自分らしく輝くために…

「特別支援教育コーディネーター」をご存じですか。各小中学校に置かれ、一人一人に適切な支援をするための相談窓口となっています。

子どもたちは、どの子もみんな、すてきな輝きをもっています。その一方で、どの子にも苦手なことがあります。その中で、特に支援が必要な子どもに対して、「一人一人に合った個別の支援を行おう」というのが、特別支援教育の考え方です。碧南市の小中学校でも、スクールアシスタントの配置、通級指導教室の開設など、さまざまなシステムがあります。

「じっとしているのが苦手…」 「友達にすぐ手を出してしまう」 「文字を書くことを極端に嫌がる」 など、お子さんの発達が気になるときや、お子さんに合った教育的支援を希望される時は、担任はもちろんのこと、各学校の特別支援教育コーディネーターにご相談ください。すべての子どもたちが自分らしく輝いていけるよう、学校と家庭が連携してともに歩んでいきましょう。



乳幼児期に規則正しい生活リズムを身につけましょう

～乳幼児健診に従事して～

1歳6か月児健診、3歳児健診では、子どもの就寝時間や毎日朝食を食べているかなど、生活について聞き取りをしています。

朝ごはんをほとんど食べていない家庭、子どもの就寝時間が遅い家庭や子どもが朝起きるまで寝かせている家庭などがあります。令和元年度の1歳6か月児健診、3歳児健診では、それぞれ約4%の子どもが夜11時以降に就寝しています。また、毎日朝食を食べない子が、1歳6か月児健診では4.8%、3歳児健診では9.4%います。

子どもの成長には、良好な睡眠と毎日の朝食は欠かせません。年齢別の推奨睡眠時間は、1～2歳では11～14時間、3～5歳では10～13時間（※）と言われています。十分な睡眠時間を確保できるように、また、朝食を毎日食べるように、生活を見直してみましょう。

子どもの健やかな成長発達には、規則正しい生活リズムが必要です。乳幼児期から早寝・早起き、毎日3食を食べるといった基本の生活習慣を親子で身につけていきましょう。

（※）未就学児のための睡眠Q&A 厚生労働科学研究費補助金 未就学児の睡眠・情報通信機器使用研究班より

（健康課 母子保健係）

